

芙蓉

vol. 65
2019.7月 発行



社会福祉法人 芙蓉会

〒417-0001 静岡県富士市今泉2220番地
TEL (0545) 52-0402 FAX (0545) 55-1119
<http://www.fuyoukai.org>

児童養護施設	ひまわり園	TEL.0545-52-0402
地域小規模児童養護施設	ひろみ	TEL.0545-22-1281
乳児院	恩賜記念みどり園	TEL.0545-53-5665
特別養護老人ホーム	みぎわ園	TEL.0545-55-1800
ショートステイ	みぎわ園	TEL.0545-55-1877
通所介護	デイサービスセンターみぎわ園	TEL.0545-55-1800
通所介護	ふようデイサービスセンター	TEL.0545-52-1397
居宅介護支援事業	ふよう居宅介護支援事業所	TEL.0545-52-5500
地域包括支援センター	富士市吉原西部地域包括支援センター	TEL.0545-30-8324
在宅介護支援センター	みぎわ園	TEL.0545-55-1811
複合型サービス	みぎわの里	TEL.0545-30-7952

公分母

「人と人とのつながり」

社会福祉法人芙蓉会

評議員 松本 玲子



庭の紫陽花の花が雨に打たれて、より一層鮮やかに輝いている、という冒頭の言葉になるはずだったが、空を見上げても、なかなか雨が降ってこない。ようやく雨が降ってきた頃には、時すでに遅し、花はすっかり変色し、見る影もなくなってしまった。最近、春夏秋冬、順当に季節が変化していくことが、少なくなってきてしまったような気がする。毎年春が来て、夏が来てと、季節は、順番に変わってやってきているが、時には、思いもかけずに寒い夏がきたり、暖かい冬だったりする。

空を見上げながら、人と人との関わり合いも、長い間、単純に支えあって生活してきたが、最近、電子機器を使い切れないお年寄りが、若い方たちと、分かり合えないことが多くなってきているようだ。お年寄りを訪問してお話を伺う時には、傷つかないように、気を付けて言葉を発している。年寄り同士だと、理解できることも、若者とは、なかなか意思疎通ができにくいと言う方もある。そのわけは、デジタル化が進み、若い人たちのコミュニケーションは、ライン、メールで行われ、単純化した言葉のみで発せられるので、お年寄りの中には、理解しにくい方々も増えてきていると、感じている。機械が何でも人間の代行ができる時代になり、非常に便利になった。一人暮らし

の方などは、アイボなどと、話ができるようになり、「とても楽しいよ。」ということを知ると、ほっとする。しかし、人間は、生の声で話すことにより、その表情、イントネーションで、理解が深まることが多い。お年寄りには、できるだけ、生の声でやさしく接したい。

坂の上に暮らしている私は、自転車で坂を下り、帰りには、荷物をつけて、「よいしょ」と、自転車をひいて坂を上る日常だった。ある日、坂の途中で、急に自転車が軽くなった。「え!どうして?」と思いながら、振り返ると、制服を着た中学生が、自転車を押してくれているのではないかと。「ありがとう!!助かったよ。」と言うと、「おばさん、大変そうだったから...。」と言って、にっこりしていた。その後、また会えるといいなあと、思いながら、坂を上ってきたが、数年前、自転車で転んでしまってから、あまり、買い物に出かけなくなってしまった。時々、坂を徒歩で歩きながら、あの時のあの子どももう成人して、この土地にいないのだろうかと思いつつ、ちょっとした行動が、人に和やかな温かい感情を起こさせるのだと思い、社会が進んでいかに機械化されて便利になっても、人と人との声掛けや、支えあう気持ちは、何よりも大切なことだと、痛感している。

デイサービスセンターみぎわ園

◇お花見◇

広見公園でお花見! 咲き始めでしたが、お弁当を持ってピクニック気分を楽しみました♪



まだ三分咲きかな?

◇バラ見学◇

見頃を迎えたバラを見に中央公園へ。バラに負けないくらいの素敵な笑顔!



みんな笑顔でピース!



キレイに咲いてるね

◇園芸◇

年末から育てていたミニ大根やカブをみんなで収穫。野菜の味が濃くておいしいと大好評でした!



良い出来だね



よく洗って



美味しそうに出来ました!

◇吉原商店街◇

電車に乗って商店街でお買い物! 味見をしたり、昔よく行った和菓子屋さんでお土産を買ったり...



商店街に行つてきまーす!



ふようデイサービスセンター

★お好み焼き



具材をまぜてゆっくり焼いて…
ふわふわのお好み焼きが完成！
とっても美味しかったです♪
これから暑くなりますが、たくさん食べて今年も元気に夏を乗り切りましょう！



★鈴の会ボランティア

尺八の音色を聞きながら、昔懐かしい歌を歌いました。マイクを向けられ、歌声を披露してくださいました♪



★フラダンス

今回も皆で振り付けを覚えました！
ハイビスカスの首飾りをつけて、憧れのハワイ航路の曲に合わせて元気良く踊りました☆



みぎわの里

祝・4周年

平成31年2月、みぎわの里はおかげさまで開所4周年を迎える事が出来ました。おでかけクラシックの皆様をお迎えし、『フルートとハープの調べ』により、4周年祭を盛り上げて頂きました。そして令和の時代が始まりました。5年目も、ご利用者の思いに寄り添って参ります。



2人の奏者による演奏
とても素敵でした♪



みんなで記念撮影



爽やかなお天気の日には、外出をして楽しんでいます。



田子の月でお誕生会



お花見遠足



バラ鑑賞会

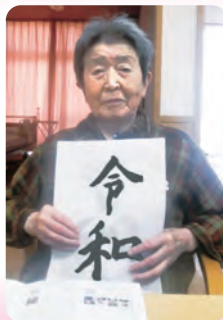


いちご狩り

みぎわ園

「令和」

新年号になり、お正月の書初め以来久しぶりに筆を持たれ少し緊張気味ですが、お手本を横にするとさすが有段者で勢よく書き上げました。それを温かく見守る他入居者様の視線に平成から令和に引き継がれる人の輪を感じました。



「畑」

5月の陽だまりの午後、入居者様から希望を取り、農家をやられていた入居者様の指導を受けながら、ナス・トマト・ピーマンの苗を植えました。これから毎日入居者様と天気や水やりや育ち具合等の話で職員と入居者様で盛り上がることでしょう。収穫が楽しみです。



＊ひまわり園＊

GWに各ユニット行事に出掛けました。



大地



樹空の森へ行きました。アスレチックや水遊び、パターゴルフ、洞窟探検など、年齢に合わせて楽しみました。晴天のとも思いつきり体を動かし、子どもも大人も気持ちの良い日を過ごせました。

かえで



白尾山公園に行きました。たくさん遊んで遊んだり池でザリガニ釣りをしたりして、楽しみました。

めんたいパークに行ってきました。工場見学をしたり、明太子を試食したり子どもも大人も楽しく過ごことができました。



けやき



さくら



子どもの国に行ってきました。面白い自転車があったりマジックショーをやっていたりして、楽しかったです。

りんどう



富士宮のお祭りに行ってきました。間近で流鏝馬をみる事ができて、大興奮でした。



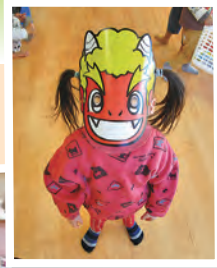
5月26日に小学校の子ども会のドッチボール大会がありました。ドッチボール大会が初めての子どもでしたが、どの子も一生懸命頑張りました。他の地区との混合チームでしたが、団結して一生懸命戦う姿をみる事ができました。高学年女子のチームは準優勝する事ができました。

みどり園

【2月】

〈お楽しみ会〉

みんなで大きな鬼の顔を作りました!
折り紙にのりをつけてダンボールに貼り、
大きな鬼の顔が完成したら新聞紙のボールを鬼の口
へ投げて遊びました。すると青鬼が登場!!泣きながらも
みんなで一生懸命ボールを投げて鬼をやっつけました!
お昼ご飯は鬼の顔のハンバーグ!髪の毛は焼きそば
になっていました。デザートはゼリーにもイチゴの
カワイイ鬼が乗っていました!



【3月】

〈園外保育〉

4つのグループに分かれて園外
保育に出掛けました。第4グループ
は日本平動物園に行きました。初めて近くで見
る動物達に視線は釘付け!!一つ一つの展示を
じっくり見て回りました。お昼は、おにぎりガ
レッサーパンダの形になっているお子様ランチ
を食べました。お土産にぬいぐるみや靴下を
買って帰り、園に着いてからお姉さん達に
「象いた!」等沢山お話していました。



【4月】

〈お楽しみ会〉

歩いて吉原公園にお花見に行きました!
みんなしっかりと手をつなぎ「クルマ!!」
「オハナ!!」などとお話しながら公園に行きました。
滑り台やジャングルジムでたくさん遊んだ後に、
ブルーシートを敷いてお弁当を食べました。桜が舞う中、
食べるお弁当はまたいつもと違った雰囲気でも
印象に残る思い出になりました!



ひろみ



5月12日は母の日でした。
特に変わりなく子どもたちと過ごしていると、
「お姉さん!いつもありがとう!母の日だから
これあげる。」と4本のカーネーションが集まった
手作りの花束をプレゼントしてくれました。
世界に一つしかない花束となり、心がとても
温まりました。



「自分を愛するように隣人を愛しなさい」

「法人本部」

「自分を愛するように、あなたの隣人を愛せよ」の法人理念の下、平成30年度は、戸巻芙美夫氏が多年に亘る社会福祉事業に尽力された御功勞により、「瑞宝双光章」の栄に輝きました。なお、叙勲受賞者は当法人として9人目となり、大変喜ばしい出来事となりました。

当法人は115年の歴史と共に地域社会との信頼関係を構築し、質の向上とガバナンスを高めていくことが重要と考え、透明性(情報公開)・倫理性(苦情解決)・組織性(内部監査・監事監査・外部監査)の積極的な取り組み姿勢、労務管理、地域貢献活動の実践を推進して参りました。

また、限られた人員でいかに付加価値を高めていか、長時間労働の是正や多様な就業形態の導入など、働き方改革により職員の満足度を引き上げながら、効率化に向けていくために「人事考課の見直し」を図り職員の意欲向上と意識改革に努めて参りました。

最後に、昨年に続き外部講師(坂倉裕子氏)による新任職員研修「社会人の基本と仕事の覚え方、人間関係の基本の心理学、信頼されるコミュニケーション」と新たに中堅職員研修「社会人の基本と仕事の覚え方、人間関係の基本の心理学、信頼されるコミュニケーション」について学び施設運営基盤の強化と職員の資質向上に努めより質の高いサービス提供することができました。

「児童養護施設 ひまわり園」

平成29年に厚生労働省が発表した「新しい社会的養育ビジョン」で、国は里親委託を推進し、施設の小規模化、地域分散化を進めるとともに施設の担う役割の高機能化、多機能化を図るとの方針を示しました。そうした影響からか、静岡県内の児童養護施設入所児童は年々減少傾向にあります。ひまわり園においても同様で、定員75人のところ月平均57人の在籍児童数(充足率76.0%)でした。また、以前は乳児院からの措置変更児童が多かったのですが、平成30年度は家庭からの入所児童が過半数を占めました。

子どもの支援に関しては、高齢児や退所児童の自立支援、家族との関係調整などで様々な対応を行いました。また、個別対応では心理職員による個別面接、職員研修における外部講師を招いたケースカンファレンスなどによる支援の充実を図りました。家族支援では家族の再統合を目指した家庭訪問や出身市町との支援会議の数も増えると共に、運動会や入学式、卒業式など幼稚園や学校行事への保護者の参加を促すなど、従来以上の充実した取り組みができました。自立した児童や引き取りとなった家庭へも連絡を取り、家庭訪問を行うなどアフターケアにも努めました。

一方、児童虐待問題が社会問題として大きく取り上げられている中、県内の一時保護所は常に満員で、児童相談所から施設への一時保護依頼が増え、深夜や早朝に緊急で受け入れるケースが目立ちました。家庭から措置される場合もほとんどが虐待がらみであり、家族再統合に向けた取り組みは非常にデリケートな対応を求められました。

「地域小規模児童養護施設ひろみ」(ひまわり園加算事業)

平成30年度、「ひろみ」は地域小規模児童養護施設の指定を受け(承認年月日:平成29年4月1日)、本体施設の支援のもと、24時間体制で入所児童の安全・安心の確保に努めました。

平成30年度は、小学生4名、高校生1名でのスタートとなりました。

ひろみでは地域の中での生活体験を基盤に、家庭的な環境の中で、より個別的な支援が出来るように努めました。

新しく入所した児童につきましては、ひろみでの生活や学校生活を落ち着いて送れるように、児童相談所や学校と連携し支援してきました。また出来る限り子どもが日常生活において主体的に考え、取り組むことが出来るよう心掛けて支援しました。

昨年度は小学生2名(2ケース)が家庭引取りを検討出来る状況でしたので、児童相談所と連携し、面会や外泊、家庭訪問などの支援を実施し、家庭引取りを実現することが出来ました。高校3年生の児童につきましては、製紙会社への就職が決まり、自立していきました。また、ひろみでは地域との関係を大切にすることを常に心がけて生活しました。地域活動への主体的な参加をすると共に、日常の中での地域住民の方々との交流を大切なることを意識しました。例年同様に、地域の防災訓練やバーベキュー、運動会等の行事では主体的に参加しました。また昨年度は地域の方やボランティアの方からお誘いを受けたイベントに、職員子ども共に積極的に参加しました。その中で様々な方々との出会いがあり、地域との関係に新たな広がり生まれてきました。

「恩賜記念みどり園」

平成30年度の暫定定員は4月当初は24名でした。当初予算の関係で保護単価の金額を定員25名迄の施設単価で計算しておりましたが、暫定定員27名が決まりましたので措置費の過払い分の返納修正を行いました。

例年、実施しても申請できなかった小規模グループケアの加算を申請する予定でしたが、26名の体制で職員配置を考えていたため、常勤保育士の定数が足りず、加算を申請すると0~1歳児単価が1.3:1から1.4:1に修正されてしまうことが懸念されましたので、小規模グループケア加算の申請を見送りました。

しかし、下半期に入り暫定式が追加され、平成29年度に積極的に一時保護を受け入れたことが評価され、暫定定員が28名に増えました。

年間の在籍児童数は、延べ人数で7,370名、年間の充足率は定員換算で67%、暫定定員28名では72%でした。児童福祉法の改正で、代替養育が必要な乳幼児は、家庭若しくは、より家庭的な環境で養育する方針の影響から入所児童の減少が著しく、前年に比べ在籍児童数が延べ1,412名程少ない状況があり、3月の措置児童は22名、一時保護児童1名の23名で、暫定定員より5名の空きがあり、次年度の暫定は25名を下回ることが考えられます。

年間の一時保護児童は16名(延べ人数755名)、でしたが、虐待通告で緊急保護しても、虐待の事実が立証できずに、不起訴となり保護解除に繋がるケースが増加しています。当園で一時保護が解除されたのは15名、内訳は措置に切り替えられた児童5名、他の乳児院へ措置変更された児童1名でした。しかし身体的虐待3ケースを含む9名が家庭引き取りになっています。児童福祉法の改正等で、「家庭」で養育されること一番とされていますが、児童福祉司指導という条件付きではありますが、身体虐待のケースについては、本当に解除が妥当なのか心配になるケースもあり、在宅家庭への支援の充実が急務であると痛感しました。

富士市のショートステイは、平成29年度は一時保護と重複した関係で、1件も受けられなかった事から、年度当初から積極的に受け入れ、児童10名・母親1名(母子1組)、延べ日数68日の実績を残しました。

平成30年度は園内の研修も積極的にを行い、主任看護師による「急変時の対応・救急蘇生法」や、「嘔吐物の処理法」「正しい手洗い」等の実務者研修を延べ29回開催し、延べ68名の職員が受講しました。先覚的な施設への視察研修は、平成30年6月に竣工した久良岐乳児院(横浜市)に主任以上の指導職・管理職6名が出掛けて、最新の設備や、施設内型の小規模グループケアでの養育状況を学ばせていただきました。

当園が行っている社会貢献事業は富士市より委託されているショートステイ事業と、園独自で行っている赤ちゃん110番電話相談事業ですが、駿河台地区の高齢者を対象にした買い物支援に関する事業を実施するべく、法人内施設や、市議会議員、今泉地区民生委員協議会と、駿河台地区の町内会長の協力を得て「買い物送迎プロジェクト実行委員会」を立ち上げて、試行調査を行い、次年度の事業化に向けての準備を進めることができました。

「特別養護老人ホームみぎわ園」

平成30年度は、3年毎に行われる介護保険報酬改定年度の初年度であり、各介護保険事業の以後3年間を映し出す重要な年度でありました。特養部門に於いては、入退居ともに昨年度より5名ほど(H29:22名・H30:17名)少ない中でも介護度の重度化を背景に内科的疾患での入院事情が多く、空床による稼働実績への影響が見られました。在宅系サービスについては、ふようデイサービス(一般通所型)での年度後半の担当者の努力もあって利用者の増加が見られ、次年度以降事業展開の新たな方向への検討を進めるとしています。他の在宅サービス事業については、他の通所系事業所との競合の下、難しい中でも大きな支障もなく事業展開が図られてきました。みぎわの里については、開設後3年経過する中で安定した事業展開が図られ、徐々に看護小規模多機能施設としてその役割の確保ができています。

このような事業状況にあって、直接介護部門事業の人材不足は深刻であります。特に若年層の介護人材が一般企業へ流れ、景気動向の裏付けが結果として否めない現状であります。このような中でも現介護職員の努力の甲斐もあって大過なく介護支援が進められ、特養に於いての看取り介護看護については、10名の入居者への支援を行い、ご家族と共に看護介護、多職種がよく連携し、命の尊厳を肝に銘じて実践されてきました。ご葬儀の中では、多くのご家族からは「みぎわ園への感謝」のお言葉を多く戴き、その時々温かい心を頂いています。これらの介護支援については、大きく評価しています。介護人材の不足解消に向けて外国人労働者(特定技能実習生)の受入についても、内容、要件、情報とよく精査しつつ継続した検討の必要性を感じています。一昨年からの地域共生社会へのアプローチについては、現実化した動きは見えていませんが、継続した検討を進めるとしています。

建物全般については、施設開設後15年を経過した下で耐用年数に伴う経年劣化等の問題で、各設備的なものが更新改修の時期を迎えています。浴室タイルの劣化、照明の省エネ化(LED照明)への改修、特に空調機の緊急修繕等で奔走した年度でもありました。設備環境の更新改修整備は、短期での計画を組み合わせながら進めて行く時期にある年度でありました。

平成30年度 社会福祉法人芙蓉会 決算報告

法人単位資金収支計算書

(自)平成30年4月1日 (至)平成31年3月31日

(単位:円)

Table with columns: 勘定科目, 予算(A), 決算(B), 差異(A)-(B), 備考. Rows include 事業活動による収支, 施設整備等による収支, その他の活動による収支, 当期資金収支差額合計.

(注) 予備費支出△736,000円は下記の科目に充当し使用した額である。

- 「人件費支出」 職員給料支出 620,000円
「」 法定福利費支出 100,000円
「その他支出」 利用者等外給食費支出 16,000円

法人単位事業活動計算書

(自)平成30年4月1日 (至)平成31年3月31日

(単位:円)

Table with columns: 勘定科目, 当年度決算(A), 前年度決算(B), 増減. Rows include サービス活動増減の部, 特別増減の部, 繰越活動増減差額の部.

財産目録

(自)平成30年4月1日 (至)平成31年3月31日

(単位:円)

Table with columns: 資産の部, 負債の部, 純資産の部. Rows include 流動資産, 固定資産, 流動負債, 固定負債, 基本金, 国庫補助金等特別積立金, etc.

法人単位貸借対照表

(自)平成30年4月1日 (至)平成31年3月31日

(単位:円)

Table with columns: 資産の部, 負債の部, 純資産の部. Rows include 流動資産, 固定資産, 流動負債, 固定負債, 基本金, etc.

※平成30年度事業・会計報告は、紙面の都合上縮小して掲載しています。事業・予算報告は、当法人ホームページでも閲覧できますのでご覧下さい。

ありがとう

たくさんのご寄付をいただきありがとうございました。お礼を申し上げるとともに、ここに紹介させていただきます。（敬称略）

青山浩章、(株)安納芋スイーツファーム農業生産法人、あざみの会 野上由紀子、(株)アクティエ 山田純也
池田ミツヨ、今村信成、圓妙寺、沖本富夫・洋子、大野木嗣子、小穴菅登、金子圭介、カーブス富士今泉
カーブスイオンタウン蒲原、カーブスマックスバリュ八幡町、カーブス富士吉原、カーブス富士天間、加藤俊洋
菊池光男、桑田孝行、栗山恵吉、末栖陽子、小西徳三、里芳増美、三信通商(株)、篠崎陽子、ジャトコ(株)、鈴木重勝
全国児童養護施設総合寄付サイト日本チャリティ活動支援協会、戸巻芙美夫、戸巻紀美子、苗代千雅、内藤和代
野村幹三郎、花みずき法律事務所 谷川樹史、堀川ちと子、ポテトの会 押尾里子、(有)松永精工 松永秀彦
緑ヶ丘町内会、妙立寺、林正寺、渡辺照子、渡辺栄一
(H31.1.12～R1.6.10)

寄付のお願い

いつも社会福祉法人芙蓉会にご理解・ご協力いただきまして誠にありがとうございます。

芙蓉会は、1903年に「隣人愛」を精神として創設者であります渡辺代吉氏により、芙蓉会の前身であります「富士育児院」を創設いたしました。その後、地域社会のニーズと共にあゆみながら乳児院、児童養護施設、老人施設等をもって応えて参りました。

芙蓉会は、皆様方のご支援に支えられながら今日を迎えております。一人ひとりの思いのこもったご寄付は、社会福祉事業を推進していく上での大きな支えとなっております。年間を通して寄付金をお受けしておりますので、何卒ご協力の程よろしくお願い致します。

今後とも変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

振込先

銀行名 静岡銀行 吉原北支店
預金種目 普通預金
口座番号 0817169
口座名義 社会福祉法人芙蓉会 理事長 内藤好彦
シャカイフクシホウジンフヨウカイ
リジチョウ ナイトウヨシヒコ

編集後記

今年も暑い夏がやってきました。夏といえば、花火、かき氷、水遊び、お祭りなど楽しいイベントがたくさんありますね。また、熱中症に気をつけながら暑い夏を楽しく過ごしていきたいですね。

後援会からのお知らせ

多くの方々から後援会費を送金いただき、心より感謝を申し上げます。また新規のご入会も随時受けつけております。子どもたちのため、おとしよりのために、あたたかいご支援いただけますよう、ご入会をお願いいたします。会費の振込先は下記の口座にて承ります。

年間会費 } 1□ 1,000円 会社 } 1□ 3,000円
個人会費 } 1□ 1,000円 団体会員 }

振込先（郵便局振替口座）

・口座番号 00880-0-2423 ・口座名称 芙蓉会后援会

何□でも結構です

他の金融機関からのお振込を受ける際にご指定いただく口座情報は、右記のとおりとなります。

銀行名 ゆうちよ銀行
店名 O八九店
預金種目 当座
口座番号 0002423
口座名義 フヨウカイコウエンカイ

ボランティアさん紹介



ひまわり園では多くのボランティアさんのご支援を受けています。今回は、ひまわり園で学習のボランティアに来てくださっている方をご紹介します。

神戸(ごうど)サッカークラブチームの監督や、以前は小学校の教員をされていましたが赤淵成彦さんです。一人ひとりの子どもたちのことを

理解してくださり、楽しい学習時間を作ってくださいています。子どもたちはいつも赤淵さんとの時間を楽しみにしています。今後ともよろしくお願い致します。

